令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	文化財調査・保護			款	07	項	04	目	01	事業	005	整理番号	501
現担当課名	地域の学び推進課		係名	文化財係					連絡先電話番号	内1667		昨年度整理番号	492
上位施策No・施策名	28	次世代への歴史・文化の継承							予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和57年度	実行計画事業	分野	08	施策	28	計画事業	01					
令和7年度担当課名	生涯学習推進課								事業評価区分	一般			

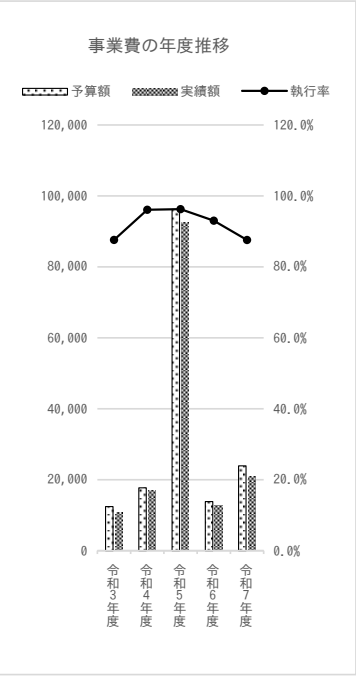
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
区内所在の文化財 区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民	文化財保護法 杉並区文化財保護条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○区内の文化財を保護する。 ○文化財所有者及び区民の文化財への理解を促進する。 ○文化財の保存・活用を図ることで、次世代へ継承する。	○文化財調査の結果に基づき、登録文化財や、さらに重要な指定文化財として認定したものを適切に保存する。 ○刊行物や案内標示板等による情報提供やデジタルアーカイブの活用を進めるほか、区内団体などと協働し、文化財の公開・活用に努める。 ○埋蔵文化財の適切な保護・保存を図るため、埋蔵文化財調査を実施する。 ○国の史跡指定を受けた荻外荘に関する資料等の調査を実施する。 ○谷川俊太郎氏関係資料について、調査と今後の保存・活用について検討する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	デジタルアーカイブ公開資料件数（埋蔵文化財及び地上文化財を含む）	デジタルアーカイブ上で公開された資料の件数（文化財係所管分）	件	計画	－	－	478	488
				実績	－	－	478	－
				達成率	－	－	100.0%	－
	杉並区文化財指定登録総件数	杉並区文化財を指定登録した件数	件	計画	152	153	153	154
				実績	152	152	153	－
				達成率	100.0%	99.3%	100.0%	－
成果指標	デジタルアーカイブアクセス数	デジタルアーカイブ上でアクセスされた数（文化財係所管分）	回	計画	－	－	3,682	9,500
				実績	－	－	3,682	－
				達成率	－	－	100.0%	－
	分類　行政サービス成果指標							
	杉並区文化財保護奨励金の交付件数	文化財所有者に文化財保護奨励金を交付した件数	件	計画	112	112	112	112
				実績	112	112	112	－
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	－
	分類　行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	12,435	17,719	96,207	13,845	23,915	20,548
			実績額	10,893	17,028	92,620	12,879	20,945	－
			執行率	87.6%	96.1%	96.3%	93.0%	87.6%	－
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	21,914	21,647	24,954	25,113	25,668	26,700
			実績額	22,112	22,216	27,457	27,978	18,779	－
			執行率	100.9%	102.6%	110.0%	111.4%	73.2%	－
	上記以外の職員		予算額	18,140	18,375	18,390	19,035	27,858	29,436
			実績額	18,375	18,390	19,035	23,215	32,723	－
			執行率	101.3%	100.1%	103.5%	122.0%	117.5%	－
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	52,489	57,741	139,551	57,993	77,441	76,684
			実績額	51,380	57,634	139,112	64,072	72,447	－
			執行率	97.9%	99.8%	99.7%	110.5%	93.6%	－
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	国・都からの補助金 ②	千円	予算額	3,000	2,700	2,700	3,000	9,139	2,700
			実績額	2,550	814	860	2,045	7,823	－
			執行率	85.0%	30.1%	31.9%	68.2%	85.6%	－
	その他の補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	3,000	2,700	2,700	3,000	9,139	2,700
			実績額	2,550	814	860	2,045	7,823	－
			執行率	85.0%	30.1%	31.9%	68.2%	85.6%	－
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	49,489	55,041	136,851	54,993	68,302	73,984
			実績額	48,830	56,820	138,252	62,027	64,624	－
			執行率	98.7%	103.2%	101.0%	112.8%	94.6%	－



特記事項

令和8年度から活動指標を「埋蔵文化財窓口照会件数」から「デジタルアーカイブ公開資料件数」に、成果指標を「埋蔵文化材調査延べ日数」から「デジタルアーカイブアクセス数」に変更しました。なお、杉並区デジタルアーカイブは、令和8年2月より始動したため、成果指標における令和7年度のデジタルアーカイブアクセス数の実績値は、2月と3月の2か月分の数値です。

令和7年度の事業費は、荻外荘復元整備工事報告書の作成及び谷川俊太郎氏の関係資料調査を開始したため、令和6年度より増額しました。また、埋蔵文化財調査の件数減により委託費が執行残となっています。

整理番号	501

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	国指定史跡「荻外荘復元整備工事報告書作成」	1	件	8,692
	谷川俊太郎関係資料調査	1	件	905
	埋蔵文化財調査業務委託	6	件	1,887
	指定登録文化財保護奨励	112	件	1,740
	その他（　文化財案内標示板の修理、デジタルアーカイブ用3Dデータ製作ほか　）			7,721
取組成果	令和6年12月に一般公開を開始した荻外荘については、復元整備工事の内容を報告書として取りまとめ令和7年度に刊行するとともに、陽明文庫と連携した資料調査を実施し、整備内容の記録化及び歴史的価値の把握を進めました。これにより、文化財としての理解促進と今後の保存・活用の基盤整備を図りました。 また、谷川俊太郎邸及び関係資料については、建物の記録や蔵書・書簡の調査を実施し、その成果を報告書として整理・公開することで、寄贈後の活用に向けた基礎資料の整備を進めました。 文化財指定においては、荻外荘で展示している太鼓を新たに区指定文化財に指定し、文化財の保存及び公開の充実を図りました。 さらに、図書館及び郷土博物館と連携してデジタルアーカイブの公開を開始し、文化財情報や出土した遺物の3Dデータ等の発信基盤を整備したことで、文化財の公開・活用の促進に向けた環境整備が進みました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	地域に存在する文化財については、全体像や保存状況の把握が十分でなく、地域に点在しながら未活用のまま埋もれているものが多い状況です。文化財の適切な保存及び活用に向け、体系的な整理と情報の集約・可視化を進める必要があります。加えて、文化財所有者の高齢化や後継者不足が進んでいることから、保存・継承体制の構築に取り組みます。 また、文化財の整理・公開や普及啓発に当たっては、ボランティアの参画を得て取組を進めます。活動機会の確保と継続的な関与の促進により、文化財の保存・継承を支える体制を強化し、次世代への継承を図ります。 近年における、指定・登録文化財や寄贈資料の増加、さらに谷川俊太郎氏関係の多数の資料の寄贈が見込まれる中で、安定的な保管・活用場所の確保が必要です。加えて、埋蔵文化財の緊急発掘に伴う出土遺物については保存義務がある一方、杉並中継所跡地の活用により既存倉庫の移転が必要となっているため、新たな保管場所の確保に向け、外部倉庫の活用も含めて検討を進めます。 こうした状況を踏まえ、令和7年度に公開したデジタルアーカイブについては、文化財情報の一元的な管理基盤として位置付け、掲載内容の充実及び周知を進めることで、文化財の体系的な整理及び利活用の促進を図ります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	文化財保護審議会を運営し、文化財の指定・登録に向けた調査・審議を進めています。また、デジタルアーカイブの充実を図るため、3Dデータ作成業務の実施に向け、掲載資料を選定しました。 杉並名誉区民である谷川俊太郎関係資料については、文化財保護ボランティアの協力を得て調査を進めています。昨年度末までに全体の約3分の2の調査を終えており、今年度は残る資料の調査に取り組んでいます。また、資料の適切な保管環境を確保するため収蔵庫移転を実施するとともに、有識者による資料評価を進めています。あわせて、寄贈資料や埋蔵文化財出土遺物の増加に対応するため、収蔵庫の整理及び新たな保管場所の確保に向けた検討を行っています。 文化財調査では寺院調査を2回実施しました。埋蔵文化財については、発掘調査を適切に実施するとともに、調査成果の普及啓発に向けた区役所でのロビー展の開催準備を進めています。 予算執行については、概ね計画どおりに進んでおり、年度末までに予算の範囲内で適切に執行できる見込みです。
事業の方向性・改善策	デジタルアーカイブについては、指定・登録文化財の目録データの充実や文化財の3D画像データの作成を進めるとともに、図書館及び郷土博物館と連携しながら、文化財情報の体系的な整理及び情報発信の充実を図ります。 また、区内文化財の全体像の把握と保存・継承に向けた取組を進めるため、寺社等が保有する文化財の調査を継続的に実施するとともに、文化財所有者との連携を強化し、文化財の記録化及び活用を推進します。 谷川俊太郎関係資料については、調査を継続しながら資料の価値や全体像の把握に努めるとともに、展示・公開を含めた活用方策や適切な保存・保管方法について検討を進めます。 あわせて、増加する寄贈資料や埋蔵文化財出土遺物に対応するため、収蔵環境の整備及び保管場所の確保について検討を進めます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	拡充
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	荻外荘創建100周年にあわせ、文化財シリーズの改訂版の発行や、区内の貴重な建築物の記録保存を計画的に進めるための経費を確保するとともに、埋蔵文化財出土遺物の増加により既存収蔵スペースが不足していることから、外部倉庫の活用に必要な経費を見込むため、事業費を拡充します。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	令和9年度は、荻外荘創建100年を契機として文化財の価値や保存・継承の重要性の普及啓発を強化します。また、谷川俊太郎関係資料に関する基礎調査が概ね完了することから、その成果を活用しながら引き続き調査研究を進め、文化資源に対する理解促進と新たな関心層の拡大を図ります。さらに、増加する埋蔵文化財資料に対応するため、外部倉庫を活用した保管体制を整備し、資料の適切な保存及び管理の安定を図ります。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	郷土博物館の運営管理				款 07	項 04	目 01	事業 011	整理番号	503	
現担当課名	地域の学び推進課		係名 郷土博物館					連絡先電話番号	03-3317-0841	昨年度整理番号	494
上位施策No・施策名	28	次世代への歴史・文化の継承						予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成元年度	実行計画事業	分野 08	施策 28	計画事業 01	02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和7年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	一般		

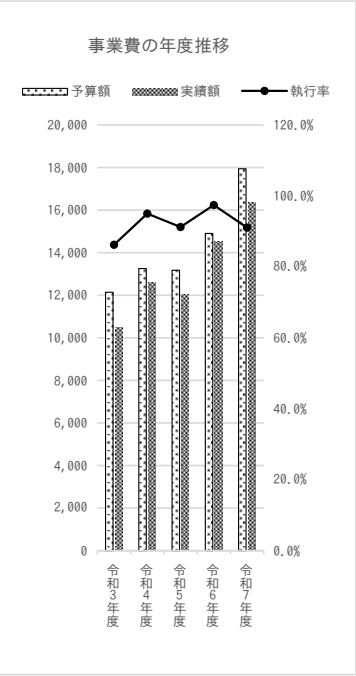
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
一般区民、自主活動団体等	博物館法 杉並区立郷土博物館条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究等を行い、展示等の事業を通じて、杉並の歴史文化を紹介するとともに、区民の郷土に対する理解を高め、愛郷心の向上を図る。	○資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託を行う。 ○展示、子ども博物館教室、講演会等各種行事を実施する。 ○学校教育等への支援・連携を行う。 ○研究紀要等を発行する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	企画展・講座・教室等事業実施回数	展示・講座・講演会・親子博物館教室・子ども博物館教室・年中行事・伝統芸能行事の実施回数	回	計画	40	40	40	40
				実績	35	35	39	-
				達成率	87.5%	87.5%	97.5%	-
	デジタルアーカイブ公開資料件数	杉並区デジタルアーカイブへ公開した資料目録件数	件	計画	-	-	1,000	4,200
				実績	-	-	4,000	-
				達成率	-	-	400.0%	-
成果指標	郷土博物館等の観覧者数	郷土博物館の来館者数及び出前型展示の来場者数	人	計画	31,000	32,000	33,000	34,000
				実績	31,007	31,181	26,744	-
				達成率	100.0%	97.4%	81.0%	-
	分類 行政サービス成果指標							
	デジタルアーカイブアクセス数	杉並区デジタルアーカイブで博物館資料にアクセスされた件数	回	計画	-	-	30,000	85,000
				実績	-	-	32,070	-
				達成率	-	-	106.9%	-
	分類 行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	12,140	13,255	13,175	14,904	17,943	18,878
			実績額	10,469	12,594	12,020	14,521	16,341	-
			執行率	86.2%	95.0%	91.2%	97.4%	91.1%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	26,822	25,029	24,954	35,359	35,888	40,995
			実績額	27,190	23,873	30,403	36,367	34,219	-
			執行率	101.4%	95.4%	121.8%	102.9%	95.3%	-
	上記以外の職員		予算額	32,652	36,750	36,780	38,070	51,073	49,060
			実績額	33,075	35,529	38,070	44,805	51,513	-
			執行率	101.3%	96.7%	103.5%	117.7%	100.9%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	71,614	75,034	74,909	88,333	104,904	108,933
			実績額	70,734	71,996	80,493	95,693	102,073	-
			執行率	98.8%	96.0%	107.5%	108.3%	97.3%	-
財源	受益者負担分①	千円	予算額	2,126	2,160	1,548	3,153	2,179	2,781
			実績額	2,027	1,941	2,010	2,827	2,729	-
			執行率	95.3%	89.9%	129.8%	89.7%	125.2%	-
	国・都からの補助金②	千円	予算額	0	0	0	0	1,657	0
			実績額	0	0	0	0	1,752	-
			執行率	-	-	-	-	105.7%	-
	その他の補助金等③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	2,126	2,160	1,548	3,153	3,836	2,781
			実績額	2,027	1,941	2,010	2,827	4,481	-
			執行率	95.3%	89.9%	129.8%	89.7%	116.8%	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	69,488	72,874	73,361	85,180	101,068	106,152
			実績額	68,707	70,055	78,483	92,866	97,592	-
			執行率	98.9%	96.1%	107.0%	109.0%	96.6%	-



特記事項

前年度事業費から12%増えた理由は、収蔵資料のデジタルアーカイブ化事業を実施したことによるものです。
成果指標（郷土博物館等の観覧者数）の達成率が81.0%となった理由は、9月に空調機器更新のため閉館したことと企画展の来館者数が少なかったことによるものです。
令和8年度から活動指標（デジタルアーカイブ公開資料件数）および成果指標（デジタルアーカイブアクセス数）に変更したため、令和5年度・令和6年度の欄は空欄となっています。なお、杉並区デジタルアーカイブは、令和8年2月より始動したため、成果指標における令和7年度のデジタルアーカイブアクセス数の実績値は、2月と3月の2か月分の数値です。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	503

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	特別展・企画展の開催等	14	回	8,233
	郷土博物館運営協議会の開催	4	回	535
	博物館事業の運営管理等	2	所	3,634
	デジタルアーカイブ関連経費			3,939
	その他（　　）			0
取組成果	特別展では、昭和100年の節目の年に合わせて、かつて堀ノ内にあったレコーディングスタジオ「テイチク」を取り上げ、戦前から戦後までの昭和歌謡に関連する資料から、文化や世相を振り返りました。また、企画展では、近年寄贈された資料を活用し、杉並から世界へ広がった原水爆禁止署名運動に焦点を当て、署名運動の広がりにおいて杉並区が果たした役割を振り返り、地域に根差した歴史を学ぶ機会としました。そのほか、区民参加型展示や出前型展示で杉並らしい展示を計12回実施し、地域への理解促進や誇りの醸成につなげました。また、古文書講座や親子博物館教室、子ども博物館教室などを実施し、広く区民や児童・生徒の学びの場を提供しました。 さらに、収蔵品管理システムを導入し、杉並区デジタルアーカイブにおける資料公開の仕組みを整備しました。これにより、歴史写真や古文書を中心とした資料、民俗資料等を公開し、区の歴史・文化に関する情報発信の充実を図りました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	区内外に広くアピールできる特別展・企画展を開催したものの、空調機の入れ替えに伴う臨時休館の影響もあり、年間目標33,000人には届かず、来館者数は26,000人に留まりました。今後は、展示等のさらなる工夫に加え、観覧者数や平均観覧者数、広報の効果などの分析を踏まえ、杉並の歴史・文化の普及のため、観覧者及び利用者数の増を目指します。また、デジタルアーカイブの運用開始に伴い、デジタルアーカイブの博物館資料へのアクセス数を博物館の利用者数として把握していきます。 郷土博物館及び館外収蔵庫は、資料の増加等により飽和状態にあります。旧若杉小学校に保管している収蔵品は、令和8年度中に旧富士見丘小学校へ移転しますが、旧富士見丘小学校の使用は令和11年度半ばまでの予定となっており、その後の保管場所は未定です。博物館収蔵資料全体の点検・整理を進めると同時に、安定的な保管場所の確保を検討していきます。 博物館法改正「博物館の設置及び運営上の望ましい基準」の全部改正が行われ、令和8年3月末に告示されました。同基準に基づき、杉並区立博物館の運営方針（平成22年策定）の見直しを行う必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	杉並区の歴史や文化に触れる機会を提供し、区民の地域への理解を深めるとともに、郷土への愛着を育むことを目的として、企画展、準常設展、区民参加型展示、講座・教室など計12回の事業を実施しました。 現在は、秋以降に開催予定の特別展や企画展、関連事業に向けて、着実に準備を進めています。 また、12月に予定している旧若杉小学校収蔵庫から旧富士見丘中学校特別教室棟への収蔵資料の移転に向け、資料の梱包作業を計画的に進めています。併せて、資料のデジタルアーカイブ化についても着実に取り組んでおり、公開資料件数は現在4,219件で既に今年度の目標である4,000件を上回りました。アクセス数は7月末時点で29,272件と堅調な数値です。予算の執行状況は現時点で3割ですが、年度末までにはほぼ100％に達する見込みです。 郷土博物館（本館・分館）の観覧者数は、「すぎなみ鉄道おぎくぼ車両基地」展示開催により中学生以下を中心に観覧者が増えたことから、7月末時点で前年同時期比1.2倍の水準となっています。
事業の方向性・改善策	9月の特別展では区ゆかりの人物である与謝野晶子を取り上げ、堺市博物館（さかい利晶の杜 与謝野晶子記念館）の特別協力のもと、同館や鞍馬寺（京都市）をはじめとする関係機関から貴重な資料を借用し、展示を行います。このほか、収蔵資料展、区民参加型展示、出前型展示についても計画的に実施していきます。 飽和状態にある収蔵庫への取組については、12月に予定している旧若杉小学校収蔵庫への対応を優先する必要がありますが、博物館の長寿命化改修に向けて、特別収蔵庫及び一般収蔵庫の整理に着手します。資料整理、資料台帳の電子化の推進及び資料の適正配置について、計画的かつ着実に実施します。 杉並区郷土博物館の運営方針については、長寿命化改修後の博物館のあり方を反映させるため、令和14年度中の改定を目途に、引き続き見直しを進めます。 デジタルアーカイブについては、これまで資料保存の観点からデータ化を進めるとともに、公開対象を拡大するため、著作権処理が不要な資料を中心に公開を進めてきました。今後は、引き続き保存上必要な資料のデータ化を着実に行うともに、著作権処理を順次進めることで、公開資料の拡充を図ります。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	拡充
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	引き続き、歴史的・文学的資料の収集・保存及び調査研究に取り組み、展示や教育普及事業につなげ、杉並の歴史・文化の魅力をより広く発信していきます。特別展では、杉並区名誉区民である谷川俊太郎を取り上げ来館機会の創出を図るほか、令和9年に迎える「荻外荘荘建100年展」及び「郷土博物館分館20周年記念展」の2つの周年事業において区の歴史文化資源を活用し、郷土に対する理解を高めます。 また、郷土博物館本館の長寿命化改修を見据えた全収蔵庫の整理に着手するため、資料整理に必要な環境整備や、資料のデジタル化及び電子データの活用を推進し、収蔵資料の適切な保存管理を行い利活用の拡充を図ることで、長寿命化改修後の博物館機能の強化につなげていくため、デジタル化及び資料整理に係る予算を拡充します。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	歴史的・文学的資料の収集・保存及び調査研究の取組を展示や教育普及事業につなげ、杉並の歴史・文化の魅力をより広く発信していくだけでなく、郷土博物館本館の長寿命化改修を見据えた資料整理、台帳の電子化の推進及び資料の適正配置を計画的に実施し、収蔵庫の適正化を図ります。計画に基づき資料整理を着実に進め、資料のデジタル保存を推進し、収蔵資料の適切な保存管理を行い利活用の充実を図っていきます。